

バーコードとは？ Shopify専用物流倉庫スピードロジを利用する際に必要な コード解説



マルチコンタクト
コミュニケーション



デジタルトランス
フォーメーション



カスタマー
エクスペリエンス

RE:DESIGN

Digital Marketing

Electronic Commerce

Contact Center



Global Digital Transformation Partner

1. スピードロジではバーコードが必須となります！
2. バーコードとは
3. バーコードの紹介① J A Nコード
4. バーコードの紹介② インストアコード ハウスコード
5. バーコードの紹介③ I T Fコード
6. バーコードの紹介④ 定期刊行物コード(雑誌)
7. バーコードを発行してくれるサービス紹介
8. Shopifyではどこにバーコードを入力する？

スピードロジではバーコードが必須となります！

スピードロジでは取扱商品すべてにバーコードを付けていただくことをお願いしています。理由は商品管理をすべてバーコードで行っているからです。在庫数や商品がどこにあるかもすべてバーコードで管理を行っています。

スピードロジではバーコード管理を徹底しているからこそ誤出荷率5.6ppm(20万件に1回) と、完全オートメーション倉庫同等の精度を保っています。

今回はスピードロジ導入検討段階でよく聞く質問「バーコード」について詳しく説明していきます。

バーコードとは、商品コードを読み取り機器で素早く識別するバーとスペースの組み合わせになります。



スーパーで買った商品についてますよね！
スーパーのレジではバーコードを読み取って、価格や売れた数量を把握しています。

世の中で一番知られているバーコードは **JANコード** です。スーパーで特にお菓子などについているコードはほとんどすべて JANコードといっても過言ではありません。このあと解説していきますが、バーコードでそもそも必要となる商品コードは必ず JANコードである必要もなく、独自の番号でもバーコードは作れます。また、どうやって棒線の図を作るの?!と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、無料で棒線の図を発行してくれるサービスがあるので、ご安心ください。後程紹介いたします。

それでは倉庫内でよく使うバーコードに使ってみていきましょう！ここでは代表的な4つのコードを紹介します。

J A Nコードは最も一般的なバーコードです。AmazonなどではE A Nコードと表示されている場合もありますが、同じコードになります。J A Nコードは国内での呼び方で、国際的にはE A Nコードと呼ばれています。E A Nコードを求められる機会があれば、J A Nコードを入力してください。

項目	回答
名称	J A Nコード(G T I N)
展開エリア	世界各国・日本国内
メリット	店頭P O Sレジで使える
デメリット	初期申請、更新ともに有償
費用	初期申請11,000円～(事業規模による)
申請先	一般財団法人流通システム開発センター

インストアコード、ハウスコードは事業者が自分自身で決めるバーコードを指します。倉庫にものを預けたい、でもJANコードを持っていない、などというときは、まずインストアコードやハウスコードでのバーコード発行をお願いしています（JANコードはお金がかかるので、、、）。JANコードは基本、数値の羅列になりますが、インストアコード、ハウスコードは独自でバーコードを決められるので工夫次第で商品識別がかなりしやすいです。例えば、下記のようなバーコードも可能です。

(例) shirt-blue-2021
shirts-pink-2021

shirt-blue-2021



shirts-pink-2021



項目	回答
名称	インストアコード ハウスコード
展開エリア	事業者内、倉庫内など
メリット	番号の振り方を工夫することで、商品識別しやすい
デメリット	コード体系を自社検討・管理する必要あり
費用	無償
申請先	不要(展開関係者への周知が必要)

I T Fコードは梱包したダンボール箱に貼られているコードであることが多いです。一般的なJ A Nコードなどと比較するとバーコードの形が少し異なります。

太い黒枠で囲まれているものがI T Fコードになります。
右は例になりますが、実際作成する場合はメーカーコードなど意味のある数値を入れる必要があります。
(スピードロジ倉庫での活用は少ないため割愛します)



12345678901231

項目	回答
名称	ITFコード、ケースJ A N
展開エリア	世界各国、日本国内のB t o B
メリット	集合包装のダンボールやパレットに対応
デメリット	先頭の1～9のインジゲータ表示内容の理解が必要
費用	不要
申請先	G S 1 事業者コードの貸与を受けている業者は不要

バーコードの紹介④定期刊行物コード(雑誌)

雑誌など定期刊行物に発行するコードになります。現在のコード体系はG T I N(J A Nコード)に準拠した13桁のコード体系に、価格を表現するための5桁のアドオンコードを付加し、合計18桁で構成されています。

出版者、雑誌コード管理センター(窓口：株式会社トーハン)、一般財団法人流通システム開発センターでのやり取りが必要となります。

(出展 GS1 Japan 定期刊行物コード https://www.dsri.jp/code/jan_periodical_publication/)

項目	回答
名称	定期刊行物コード(雑誌)
展開エリア	主に日本国内
メリット	店頭 P O S 活用、価格も判明など
デメリット	価格変更時は利用不可
費用	3年間11,000円～(事業規模により変動)
申請先	株式会社トーハン

ここまでバーコードの種類について説明してきましたが、ハウスコードを自社内で作ったとしてバーコードの図をどうやってつくったらいいのと思われるかたも多いでしょう。

いろいろなアプリがありますが、一番簡単に作成しやすいものの例として以下が挙げられます。

・CODE 128

<http://www.situlab.net/tools/%E5%B7%A5%E5%AD%A6%E9%96%A2%E4%BF%82/%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%89%E4%B8%80%E6%8B%AC%E4%BD%9C%E6%88%90%E6%A9%9F-code128/>

バーコードを作成した場合は、必ず指定の機械で読み取れるかどうか、大量に印刷する前に一度確認してください！

Shopifyではどこにバーコードを入力する？

バーコードも作ったし、準備万端！ところで、Shopifyにはどこに入ればいいのでしょうか？
商品を登録する画面を少し下にスクロールしていただくと【在庫】という表記があり、ここにバーコードが入れます。

在庫

SKU

バーコード (ISBN、UPC、GTINなど)

在庫を追跡する

在庫切れの場合でも販売を続ける

また、すでに登録している商品でも同じように【在庫】があり、バーコードを入れられるので、商品コードを入力し保存すれば大丈夫です。



SPEED LOGI

Shopify向けフルフィルメント
「スピードロジ」では倉庫・物流
以外にも多様な知見を元に
貴社事業の運用をご支援致します

<https://transcosmos-ecx.jp/service/speedlogi>